



## 決勝レポート

### 2010/10/17 Rd-6 AUTOPOLIS

天候：晴れ 気温：19℃ 出走台数：15台

観客数：16日(土)6,366人 17日(日)13,804人

阿蘇の山々に吹く心地よい風を感じる清々しい秋晴れのAUTOPOLIS。

フォーミュラニッポン第6戦は、このハイスピードテクニカルサーキットで、2010年シーズン唯一の九州決戦を迎えた。

朝9時5分から行われたフリー走行で、ガソリン満タンの決勝セッティングの確認を行った2台は、決勝レース前のフリー走行では、デュバル選手が圧倒的な速さを見せトップタイムをマーク。伊沢選手もトップ5に入る上々の仕上がりで、決勝レースに期待がかかる。そして迎えた緊迫のスタート、良い動きだしを見せたデュバル選手は、2番手 平手選手と3番手 石浦選手の間に割って入り2台をパスしたかと思われた次の瞬間、石浦選手のフロントウィングがデュバル選手のリアタイヤに接触。スタートの混乱の中 複数台を巻き込みでのクラッシュとなってしまった。このクラッシュをアウト側にうまく避けたように見えた伊沢選手だったが、クラッシュ車両にはじかれる形で巻き込まれ、2台共にリタイヤでレースを終えることとなった。

#### 1：ロイックデュバル 選手 リタイヤ

決勝用セットアップは上々で、上位フィニッシュの手ごたえを持ってスタートを迎えた。

スタートはとても良くて、1コーナーにはトップで入る事が出来ると感じていました。

2台に挟まれる形でクラッシュする事となってしまう、私の本当の速さをお見せすることなくレースを終えてしまった事は残念で、皆様にも申し訳なく思います。

ライバル2台が良い結果でレースを終えたことで、シリーズチャンピオンシップは確かに困難になりましたが、最終戦鈴鹿で完璧なレースをしてチャンピオンを取りに行きます。

シーズン中盤から、我々がだれよりも速いことは証明できています。私たちチームは最終戦鈴鹿を征する事が出来ますし、それだけを目指に準備します。

#### 2：伊沢拓也 選手 リタイヤ

今シーズン、速さは持っているのに結果に結びつかないレースが続いています。

ここオートポリスでも 決勝用セットアップは感触よく、昨年も速さを見せる事が出来ているので、自信を持ってスタートに臨みましたが、多重クラッシュに巻き込まれる事となってしまいました。

最終戦鈴鹿は、2レース制です。2回の予選とレースを完ぺきな形で終えることだけが我々のなすべき事ですし、そうすれば結果は自ずとついてくると思います。

本来のパフォーマンスを発揮し、デュバル選手とともに表彰台に立ちたいです。